

職業教育を主とする学科

1 農業に関する学科

(1) 農業に関する学科の概要

ア 農業教育のねらい

(ア) 農業後継者を育てる。

農業に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、合理的な経営能力と実践的な技術をもった農業後継者等を育てます。

(イ) 農業関連産業で活躍できる人材を育てる。

農業のもつ社会的な意義や役割を理解させるとともに、農産物の生産や流通について、専門的な知識と技術をもった農業関連産業で活躍できる人材を育てます。

(ウ) 地域社会の発展に貢献できる人材を育てる。

農業に関する諸課題を主体的、合理的に解決する力を育むことを通して、地域文化の継承と地域産業の発展に貢献し、情報化・国際化・高齢化に対応できる人材を育てます。

イ 農業に関する設置学科

県立高等学校には、次の表のとおり農業に関する学科が設置されています。

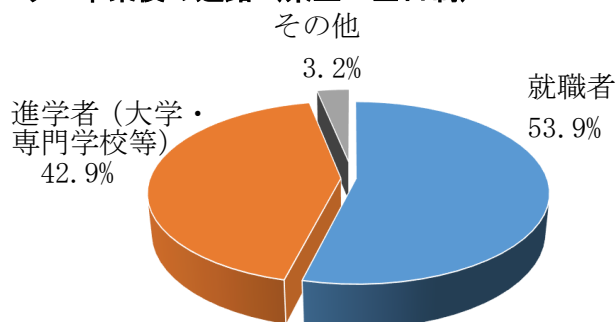
地区	小学校名	農業	農業科学	園芸	施設園芸	園芸科学	フラワーサイエンス	生物生産	食品科学	動物科学	林業	森林環境	林産工芸	農業土木	環境デザイン	生活科学	人と自然
尾張	稲沢緑風館			40										40	40	40	
	佐屋					40		40									
	半田農業		80		40				40							40	
西三河	猿投農林	80											40		40	40	
	安城農林	40		40			40		40	40		40					
東三河	田口										40						
	新城有教館 (作手校舎)																40
	渥美農業	40			40				40							40	

備考 1 表中の数字は、令和8年度の募集人員を示します。

2 表中の_は一括募集を表し、第2学年進級のときに学科に分かれます。

3 農業に関する学科は全て全日制課程です。

ウ 卒業後の進路（県立・全日制）



卒業生のおよそ53.9%が就職（就農者含む）、42.9%が進学している。
（令和7年3月）

エ 学校農業クラブ活動

農業高校には、専門教科の学習活動として、学校農業クラブ（以下、農業クラブと略）があり、農業を学ぶ生徒（農業高校生等）をクラブ員として組織されます。

農業クラブ活動は、生徒の自主的な研究・研修活動やプロジェクト活動を行うことにより、生徒に農業分野の改善を図る実践的な能力と態度を育成することを目的とした学習活動であり、培った能力を競うため、プロジェクト発表会や農業情報処理競技会などの行事を行っています。このような行事への取組を通して、授業で学んだ基礎的・基本的な知識や技術を確実に身に付けます。農業クラブの歴史は古く、1948年（昭和23年）に創設されました。



○農業クラブの三大目標

◆**科学性** — 物事や課題のおおもとにある決まりやいろいろな関係を、筋道をたてて合理的に考え、判断し、行動する態度を身に付けます。

◆**社会性** — 自分と他人で構成する組織などの社会のできごとに関心を持ち、他人の意見や行動を尊重しながら、自分の考えを表現することができ、社会の一員として協力して行動する態度を身に付けます。

◆**指導性** — 民主的、合理的に判断する力を身に付け、より良い方向へ組織やグループ及び自分自身を導き、目的を達成しようと行動する態度を身に付けます。



(2) 各学科の紹介

ア 農業科、農業科学科、園芸科、施設園芸科、生物生産科、人と自然科

学科のねらい

野菜、草花、果樹、作物、緑化植物などの栽培や、家畜の飼育に関する知識や技術を身に付け、将来の経営者や技術者等を育てます。



<ミニトマトの収穫実習>

《愛知の食を君の手で育てよう》

この学科で学ぶ主な専門科目と内容

科目名	内 容
農業と環境、総合実習	栽培、飼育や環境の保全について、新しい技術を取り入れた実験・実習を行います。
植物バイオテクノロジー	バイオテクノロジーに関する基礎的な知識・技術を学びます。
農業と情報	情報処理や栽培環境制御、流通管理などコンピュータを活用できる知識・技術を学びます。
生物活用	園芸と動物を活用したセラピーやアニマルケアについて学習します。
「野菜」「草花」「果樹」「作物」「畜産」など学科によって必要な科目を学習します。	

●全ての学科において必ず学ぶ科目は、「農業と環境」と「課題研究」です。

○科目「課題研究」

- ・専門科目で学んだ知識や技術の深化を図るため、自ら課題を設定し、研究します。
- ・研究成果を発表する機会をもつなどコミュニケーション能力の向上を図ります。

○GAP（農業生産工程管理）

- ・農産物（食品）の安全を確保し、よりよい農業生産を実現するGAPに取り組み、質の高い農産物を生産する技術の習得を目指します。

イ 園芸科学科

学科のねらい

観賞植物の栽培や流通について広く学び、植物を活用した快適な生活環境を創造する技術者や経営者を育てます。



<園芸デザイン>

《花と緑のある生活を創造しよう》

この学科で学ぶ主な専門科目と内容

科目名	内 容
農業と環境、草花、総合実習	観賞植物の栽培などの知識・技術を学びます。
植物バイオテクノロジー	バイオテクノロジーに関する基礎的な知識・技術を学びます。
生物活用	園芸デザインや園芸セラピーについて学びます。

ウ フラワーサイエンス科

学科のねらい

草花の生産に関する知識や技術に加え、流通や活用まで広く学び、商品開発や6次産業化等に対応できる、草花のスペシャリストを育てます。



<組織培養実習>

《先端技術で未来を拓こう》

この学科で学ぶ主な専門科目と内容

科 目 名	内 容
農業と環境、総合実習	草花の栽培や環境の保全について、新しい技術を取り入れた実験・実習を行います。
園 芸 デ ザ イ ン	フラワーアレンジの基礎について、基本的な形と作成上のポイントや花材の使い方を学習し、実際に作成する。
植物バイオテクノロジー	バイオテクノロジーに関する基礎的な知識・技術を学びます。

エ 動物科学科

学科のねらい

産業動物による畜産経営者、愛玩動物や実験動物の飼養管理と活用ができる技術者を育てます。



<乗馬体験実習>



<ほ乳実習>

《生命(いのち)の鼓動を体感しよう》

この学科で学ぶ主な専門科目と内容

科 目 名	内 容
農業と環境、畜産、総合実習	家畜や社会動物の飼育法を学びます。
ア ニ マ ル ケ ア	愛玩動物や実験動物の飼育法や活用法を学びます。
動 物 生 産 利 用	畜産加工品（ソーセージ、ヨーグルト等）について学びます。

◇ ふれあい動物園 ◇

安城農林高校の動物科学科では、飼育している動物を連れて、市内の幼稚園、保育園や小学校に伺い、動物と直接触れ合うことのできる移動動物園を実施しています。



オ 林業科、森林環境科、林産工芸科

学科のねらい

緑と水を育む森林の育成や管理、製材、木材加工、きのこ栽培、森林環境の保全などに従事する経営者、技術者を育てます。



<製炭実習>

《森に学び、自然を考えよう》

この学科で学ぶ主な専門科目と内容

科目名	内容
森林科学	森林の保護育成に必要な知識・技術を学びます。
測量	測量機械器具の使用方法や基本的な測量技術を学びます。
林産物利用	木材加工や製紙・製炭等木材の活用について幅広く学びます。

◇ 演習林実習 ◇

農業高校の中には、校外に演習林と宿泊施設をもつ学校があります。森林は、木材をはじめさまざまな林産物を供給するとともに、土壌・水・気象や動植物等の環境を維持・保全しており、私たち人間にとって、なくてはならないものです。そのような森林で、自然のすばらしさを体験し、自然保護や林業に関する基礎的な知識・技術を学びます。



カ 農業土木科、環境デザイン科

学科のねらい

快適な生活空間の創造を目指す公園、庭園造り、都市の緑化あるいは農地の整備に携わる技術者を育てます。



<製図実習>

《人と自然の快適空間を創造しよう》

この学科で学ぶ主な専門科目と内容

科目名	内容
測量	測量機械器具の使用方法和測量技術について学びます。
水循環	水を有効かつ継続的に利用するための知識・技術について学びます。
造園計画、造園植栽	公園や庭園の造り方や管理の方法について学びます。
農業土木設計	土木設計の基礎から製図、構造物設計について学びます。

キ 食品科学科

学科のねらい

安全で豊かな食生活をおくるため、食品の基礎知識を学び、食品の製造や成分の分析、微生物の培養などに従事する技術者を育てます。



< 食品分析実験 >

《食を科学して安全安心な生活を探究しよう》

この学科で学ぶ主な専門科目と内容

科 目 名	内 容
総 合 実 習	パンやジャム、みそなどをつくります。
食 品 化 学	食品に含まれる成分の量やその性質を学びます。
食 品 製 造	食品の製造や衛生管理の方法について学びます。
食 品 微 生 物	食品加工に有益な微生物の特性や培養について学びます。

ク 生活科学科

学科のねらい

農業と人間生活の関わりを科学的な視点で学ぶとともに、生活に関する知識・技術を習得し、幅広い職業分野で活躍できる人材を育てます。



< 栽培実習 >

《地域の食などの生活を学び、文化を知ろう》

この学科で学ぶ主な専門科目と内容

科 目 名	内 容
総 合 実 習	野菜や草花などの栽培方法を体験的に学びます。
農 業 と 環 境	栽培、飼育や環境の保全について、新しい技術を取り入れた実験・実習を行います。
農 業 と 情 報	情報処理や栽培環境制御、流通管理などコンピュータを活用できる知識・技術を学びます。
フ ー ド デ ザ イ ン	食生活の向上を目指し、食物に関する知識・技術を学びます。

◇農業高校における情報処理実習◇

農業高校では、コンピュータによる温室などの栽培環境制御、家畜の個体管理、土木などの設計・製図、流通管理など、実践的な情報処理技術を学びます。

